

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計



政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

○年 肥育豚生産費統計調査票

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】 ◇オンライン調査も可能です。

- 年1月1日～○年12月31日までの1年間について記入してください。
- 調査項目欄には、右づめで記入してください。
- 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
- オンラインで回答される場合は、「同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①
------	---

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス 番号	都道府県	市区町村	旧市区 町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「肥育豚の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、○年1月1日～○年12月31日の間に、次の豚の飼育にかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

- ① 肉 豚・・・肥育して販売する目的で飼育している豚
- ② 繁殖豚・・・繁殖用の雄豚及び雌豚
(繁殖用として育成中の豚、繁殖利用後に肥育して販売する豚)
- ③ 原種豚・・・繁殖豚生産のための原種豚

→ 調査では、これらの豚を「調査対象畜」といいます。

【調査票の記入方法（調査対象畜負担割合について）】

調査票の各項目には、調査対象畜の飼育のために使用した経費等を記入してください。

例えば、調査対象畜以外の家畜を飼育している場合には、調査対象畜分の経費等を分けて記入いただく必要があります。調査対象畜分がわかる場合には下の記入例1を、わからない場合には下の記入例2を参考に記入してください。

～～～ 配合飼料の記入例 ～～～

●記入例1 調査対象畜（養豚）分の給与量・金額を記入できる場合

調査対象畜に140 t、7百万円の配合飼料を給与した場合、数量に140 t、金額に7百万円を記入し、調査対象畜負担割合を100%と記入してください。

区 分	数 量	単位	金額 (円)	調査対象畜負担割合
配 合 飼 料	140	t	7000000	100

●記入例2 調査対象畜（養豚）分の給与量・金額を記入できない場合 (調査対象畜以外を含む経営全体の給与量・金額しかわからない場合)

経営全体で200 t、1千万円の配合飼料を給与した場合、数量に200 t、金額に1千万円を記入し、調査対象畜負担割合には、経営全体に占める調査対象畜の割合を記入してください。

区 分	数 量	単位	金額 (円)	調査対象畜負担割合
配 合 飼 料	200	t	10000000	

【調査対象畜負担割合の設定方法】

調査対象畜負担割合について、養豚以外の経営を行っている場合の設定方法を説明します。
(※ (1)では調査対象畜と豚以外の家畜を飼育している事例、(2)以降は養豚と稲作の経営を行っている事例で説明します。)

(1) 配合飼料の場合

経営全体の家畜（調査対象畜+豚以外の家畜）の飼養頭数のうち、調査対象畜の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の飼養頭数}}{\text{経営全体の家畜の飼養頭数}} \times 100$$

例：経営全体の家畜の飼養頭数が150頭で、うち肉豚と繁殖豚が105頭、豚以外の家畜が45頭の場合の調査対象畜負担割合は70% (105頭÷150頭×100) になります。

(2) 倉庫の場合

倉庫の全面積のうち、調査対象畜の飼育のために使用した面積の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：倉庫全体の面積が300㎡で、うち豚の飼料置き場に240㎡、米の肥料置き場に60㎡をそれぞれ使用している場合の調査対象畜負担割合は80% (240㎡÷300㎡×100) になります。

(3) 農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用日数のうち、調査対象畜の飼育のために使用した日数の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した日数}}{\text{トラクターの全使用日数}} \times 100$$

例：経営全体のトラクターの全使用日数が50日で、うち豚の飼育に20日、米の生産に30日使用した場合の調査対象畜負担割合は40% (20日÷50日×100) になります。

記入に当たり、
右頁を参照し
てください。

調 査 事 項

【1】経営の概況	3
経営耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数等を記入してください。	
【2】生産物の販売等の状況	4
豚の飼養状況、販売状況、購入状況等を記入してください。	
【3】調査対象畜の生産に使用した資材等	5
飼料、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、獣医師料及び医薬品費、農機具借料や賃借料・料金等を記入してください。	
【4】物件税及び公課諸負担	8
固定資産税等の物件税、農業協同組合費や家畜共済組合賦課金等の公課諸負担を記入してください。	
【5】消費税	8
消費税申告書により申告した消費税を記入してください。	
【6】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子	8
借入金残高、支払利子を記入してください。	
【7】出荷に要した経費	8
出荷で支払った料金や労働時間を記入してください。	
【8】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況	9
建物・構築物の所有状況を記入してください。	
【9】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況	10
自動車等の所有状況を記入してください。	
【10】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況	11
農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況を記入してください。	
【11】農具の購入費・生産管理関係の費用等	12
スコップ等の農具、作業着等の被服類、コピー用紙等の消耗品等の購入費、通信費や集会参加費等を記入してください。	
【12】作業別労働時間	13
家族、雇用別の労働時間、雇用者に支払った賃金を記入してください。	
【13】地代（所有地及び借入地）	13
地代を記入してください。	

【1】経営の概況

1 経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区 分	所有地（a）	借入地（a）
田	ha a	ha a
普 通 畑		
樹 園 地		
牧 草 地		

2 世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区 分	用語の説明	男（人）	女（人）
世 帯 員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくとも一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
家 族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満を除く。）		
農 業 就 業 者	年間の農業労働日数が60日以上の方		
150 日 以 上	年間の農業労働日数が150日以上の方		
農 業 年 雇	農業経営のためにおおむね年間（7か月以上）を通じて雇った者		

注：農業労働日数は、1日＝8時間を目安にしてください。

3 認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を○で囲んでください。

いる	いない
----	-----

通信欄（農業に関する何を何でもお書きください。）

【2】生産物の販売等の状況

1 豚の飼養状況

(1) 肥育豚

毎月始め（1日現在）の「肥育豚」及び「肥育用子豚」の飼養頭数を記入してください。
なお、繁殖用とする見込みの子豚は、「(2) 繁殖豚」に記入してください。

毎月始め（1日現在）の 「肥育豚」、「子豚」の飼養頭数（頭）				
1月	万	千	百	十
2月				
3月				
4月				
5月				
6月				

毎月始め（1日現在）の 「肥育豚」、「子豚」の飼養頭数（頭）				
7月	万	千	百	十
8月				
9月				
10月				
11月				
12月				

(2) 繁殖豚（後継豚を含む。）

年始めにおける繁殖豚の飼養頭数を記入してください。

年始め（1月1日現在）の繁殖豚の飼養頭数（頭）			
繁殖雌豚	種雄豚	後継繁殖雌豚	後継種雄豚
万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十

後継繁殖雌豚、後継種雄豚とは、将来、繁殖用にするために育成している子豚です。

2 きゅう肥の利用状況

1年間に畜舎から搬出したきゅう肥について、用途別に割合を記入してください。

総搬出量の割合（％）			
販売用	自家利用	廃棄	
1 0 0			

きゅう肥の総量を100%とした場合の「販売用」、「自家利用」、「廃棄」の各割合を記入してください。
（販売用、自家利用、廃棄の合計が100になるように記入。）

「販売用」に該当がある場合、その販売金額を記入してください。

販売金額（円）				
万	千	百	十	

物々交換した場合は、きゅう肥との交換により受け取った品目の数量を記入してください。

物々交換した場合		
品目名 （具体的に記入）	数量	単位
	万 千 百 十	

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3 肥育豚の販売状況等

1年間に販売した肥育豚について、販売頭数、販売価額、月齢、生体重の合計を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、月別欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。
（繁殖豚を繁殖利用後、肥育して肉用として販売した場合には、4に記入してください。）

受取金額から市場手数料などを除いた価額を記入してください。

販売した肥育豚の月齢の合計を記入してください。
例えば、6.6月齢の肥育豚を10頭販売した場合には、66月（6.6月×10頭）と記入してください。

月	販売頭数（頭）	価額（円）	月齢（月）	生体重（kg）
計	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十
1月				
2月				
3月				
4月				
5月				
6月				
7月				
8月				
9月				
10月				
11月				
12月				

4 肥育豚以外の販売状況

1年間に販売した子豚、繁殖雌豚、種雄豚、事故豚の販売状況を記入してください。

小数点以下第1位まで記入してください。

区分	用語の説明	頭数（頭）	平均月齢（月）	価額（円）
子 豚	肥育用・繁殖用として販売した豚、通常の出荷体重前に肉用として販売した豚	千 百 十	.	万 千 百 十
繁殖雌豚	廃用後販売した繁殖雌豚（廃用後、肥育して販売した豚を含む。）			
種 雄 豚	廃用後、販売した種雄豚（廃用後、肥育して販売した豚を含む。）			
事 故 豚	事故等によりとうたし、販売した豚			

【2】生産物の販売等の状況（続き）

5 子豚等の購入状況

1年間に購入した子豚、繁殖雌豚、種雄豚について記入してください。

区 分	用語の説明	頭数（頭）	平均月齢（月）	価額（円）
子 豚	肥育用として購入した子豚	千 百 十	・	万 千 百 十
繁殖雌豚	子取り用として購入した雌豚（将来、繁殖雌豚とする予定の子豚を含む。）			
種 雄 豚	種付用として購入した雄豚（将来、種雄豚とする予定の子豚を含む。）			

6 繁殖雌豚の分べん状況

1年間に分べんした繁殖雌豚の頭数、子豚の分べん頭数を、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、月別欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

	分べんした繁殖雌豚（頭）	子豚分べん頭数（頭）
計	千 百 十	万 千 百 十
1月		
2月		
3月		
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		

7 死亡・とう汰した豚の状況

肥育豚及び肥育子豚のうち1年間に死亡・とう汰した頭数について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、月別欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

	死亡・とう汰頭数（頭）
計	千 百 十
1月	
2月	
3月	
4月	
5月	
6月	
7月	
8月	
9月	
10月	
11月	
12月	

死亡・とう汰した豚の死亡・とう汰時の平均的な月齢を小数点第1位まで記入してください。

平均月齢（月）

平均的な月齢を、小数点以下第1位まで記入してください。

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等

1 購入飼料

1年間に調査対象畜に給与した購入飼料について、給与数量及び購入金額を記入してください。

- ・「数量」、「金額」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には「100」としてください。
- ・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり飼養する全頭数に占める調査対象畜の頭数割合を目安に負担割合を記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の飼養頭数}}{\text{全体の飼養頭数}} \times 100$$

（※2 自給飼料でも同様です。）

区 分	数 量	単位	金額（円）	調査対象畜負担割合
大 麦	万 千 百 十		万 千 百 十	%
そ の 他 の 麦				
穀 類				
とうもろこし				
飼 料 用 米				
そ の 他 の 穀 類				
め か ・ ふ す ま				
ふ す ま				
そ の 他 の				
め か ・ ふ す ま 類				
植 物 性 か す 類				
配 合 飼 料				
エ コ フ ィ ード				
脱 脂 乳				
い も 類 及 び 野 菜 類				
上 記 以 外 の 購 入 飼 料				

2 自給飼料

1年間に調査対象畜に給与した自給飼料について、給与数量を記入してください。

作 物 名 （具体的に記入）	数 量	単位	調査対象畜負担割合
	万 千 百 十		%

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

3 種付料

種付けに支払った料金を記入してください。（精液代、種付料等）

種付料金 (円)	万	千	百	十

4 敷料費

(1) 購入

1年間に使用した購入敷料の金額を、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。
 また、敷料を物々交換により入手した場合は、交換した品目名と数量を記入してください。

区 分	金 額 (円)	調査対象畜 負担割合
計	万 千 百 十	%
稲 わ ら		
お が く ず		
麦 わ ら		
乾 牧 草		
そ の 他		

物々交換した場合		
品目名 (具体的に記入)	数量	単位

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「100」としてください。
 ・調査対象畜以外への使用分を含めて記入する場合には、飼養する全頭数に占める調査対象畜の頭数割合を目安に負担割合を記入してください。

(2) 自給

1年間に使用した自給敷料の数量を記入してください。
 「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名（具体的に記入）	使用数量	単位	調査対象畜 負担割合
	万 千 百 十		%

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

5 光熱動力費

(1) 購入

1年間に調査対象畜に使用した光熱動力の購入金額（料金）を、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)	調査対象畜 負担割合
計	万 千 百 十	%
重 油		
軽 油		
灯 油		
ガソリン		
水道料		
電力料		
そ の 他		

・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「100」としてください。
 ・調査対象畜以外への使用分を含めて記入する場合には、それぞれの使用割合により記入してください。

(2) 自給

1年間に調査対象畜に使用した光熱動力の数量を記入してください。
 「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名（具体的に記入）	使用数量	単位	調査対象畜 負担割合
	万 千 百 十		%

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【自給で使用した燃料の例】 薪、木炭 など

6 獣医師料及び医薬品費

区 分	金 額 (円)	調査対象畜 負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示
計	万 千 百 十 円		
獣 医 師 料			獣医師に支払った診療代 (投薬、注射等の代金を含む。)
疾病共済掛金			家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」(病傷 部分)
医 薬 品 費			豚に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等			上記以外の医療・衛生費、倉庫の消毒剤等

- ## 7 賃借料及び料金

区 分	金 額 (円)	調査対象畜 負担 担 合	賃借料及び料金の例示
計	万 千 百 十 円	%	
共 同 負 担 金			共同利用畜舎など共同施設の負担金、利用料金
農 機 具 借 料			農機具のリース代
そ の 他			義務付けられている検査の費用、建物の賃借料等

- ## 8 その他の資材等

- [illegible]

ロープ、縄、ビニール・シート、ハエ取り紙 など

【4】物件税及び公課諸負担

1 物件税

1年間に負担した調査対象畜に関する各種税金を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分		金 額 (円)					調査対象畜 負担割合
計			万	千	百	十	%
固 定 資産税	建 物						
	農 機 具						
都 市 計 画 税 (土 地 以 外)							
不 動 産 取 得 税 (土 地 以 外)							
共 同 施 設 税							

注：固定資産税、都市計画税及び不動産取得税は土地に係るものを除いて記入してください。

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の支払い分を含めて記入する場合には、次の割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

○固定資産税（建物）、都市計画税、不動産取得税の場合は、畜舎等の経営全体への使用面積に占める調査対象畜の使用面積割合を記入してください。

○固定資産税（農機具）、共同施設税の場合は、農機具等の経営全体への使用日数に占める調査対象畜の使用日数割合を記入してください。

2 公課諸負担

1年間に負担した調査対象畜に関する公課諸負担を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分		金 額 (円)				調査対象畜 負担割合	公課諸負担の例
計			万	千	百	十	%
集 落 協 議 会 費							地域集落等の会費
農 業 協 同 組 合 費							農業協同組合の組合費、賦課金
養 豚 組 合 費							
農 事 実 行 組 合 費							実行組合、農家組合等の会費、賦課金
家畜共済組合賦課金							

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の支払い分を含めて記入する場合には、次の割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

○集落協議会費、農業協同組合費、養豚組合費及び農事実行組合費の場合は、農業収入に占める調査対象畜の収入割合を記入してください。

○家畜共済組合賦課金の場合は、飼養する全頭数に占める調査対象畜の頭数割合を記入してください。

【5】消費税

消費税申告書により申告した養豚分の消費税額を記入してください。

区 分	金 額 (円)				調査対象畜 負担割合
消 費 税 (納付額)		万	千	百	十 %

【6】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

調査対象畜関係の借入金について、調査開始時（1月1日）の未償還残高、買掛未払金を、黄色の欄に記入してください。
また、1年間に支払った該当借入金の利子額を記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

借 入 金 種 類	調 査 開 始 時 未 償 還 残 高 (円)				支 払 利 子 額 (円)				調 査 対 象 負 担 割		
		万	千	百	十		万	千	百	十	%
計											
買 掛 未 払 金											

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

・「未償還残高」や「支払利子額」に調査対象畜分の借入額又は利子額を記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の支払い分をまとめて記入する場合には、次のとおり農業収入全体に占める調査対象畜（養豚）の収入割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜（養豚）の収入}}{\text{経営全体の農業収入}} \times 100$$

【7】出荷に要した経費

1年間に肥育豚を出荷するために使用した資材等の金額を記入してください。

区 分	金額、時間				出荷に要した経費の例示
材 料（円）			万 千 百 十		出荷に使用したガソリン代、資材（手綱、鼻木等）の購入代金 等
料 金（円）					出荷作業を依頼した場合の料金、共同出荷における運搬費の負担金 等
労働時間（時間）				時間	肥育豚を販売する際の家畜市場等の販売先までの運搬に要した時間

【8】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

調査対象畜の飼育に使用した建物等の所有状況について記入してください。
なお、1年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「負担割合」欄
に記入してください。

耐用年数は、中古で購入した場合又は構造コードが「その他」の場合に
記入してください。

【調査対象畜負担割合について】

・該当建物を調査対象畜のみに使用している場合には「100」としてください。

・調査対象畜以外に共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合等を目安に負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 = $\frac{\text{調査対象畜の使用面積}}{\text{経営全体の使用面積}} \times 100$

番号	名称等	種類 コード	構造 コード	延べ面積 (㎡) 又は 施設数 (基)	新古区分		耐用 年数 (年)	取得年月		取得価額 (円)	農業経営基盤 強化準備金 (円)	修繕費 (円)	保険料 (円)	調査 対象 負担 割合 (%)	年内異動状況	
					新築	中古		年 (西暦)	月						異動 コード	異動に伴う発生金額 (円) (売却金額、取り壊しの金額)
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																

種類コード		
建築物		
1 住宅	4 作業場	9 たい肥舎・たい肥盤
2 事務所	6 畜舎	10 乾牧草収納庫
3 納屋・倉庫	8 車庫	13 その他の建築物
構築物		
24 飼料用タンク	29 プラスチックハウス利用乾燥施設	
26 ふん尿貯留槽	30 その他のふん乾燥施設	
27 浄化処理施設	31 その他の構築物	
28 脱臭施設		

構造コード			
建築物			
(1 住宅)～(13 その他の建築物)			
1 木造	6 木造モルタル	9 鉄骨格材の肉厚3mm以下	
2 合成樹脂造	7 金属	10 鉄骨格材の肉厚3～4mm	
3 鉄筋コンクリート	8 その他	11 造骨格材の肉厚4mm以上	
4 コンクリートブロック			
構築物			
(24 飼料用タンク)～(31 その他の構築物)			
1 コンクリート、 れんが、石、 ブロック	2 金属	5 合成樹脂	
	3 木造	6 塩化ビニール	
	4 土管	7 その他	

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・畜舎、飼料倉庫等の建物の壁や屋根の修繕費
- ・畜舎等の電灯の取替え、防鳥網の張替えの費用 など

異動コード	
1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

【9】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

調査対象畜の飼育に使用した自動車等の所有状況について記入してください。
なお、1年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

【調査対象畜負担割合について】

- ・該当自動車を調査対象畜のみに使用している場合には「100」としてください。
- ・調査対象畜以外に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合

=

調査対象畜の使用日数

×100

経営全体の使用日数

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品 中古	耐用年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) (購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)	修繕費 (円) (当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。)	自動車保険料 (円) (当年の当該自動車等の保険料を記入してください。)	自動車・軽自動車税 (円) (当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。)	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。		調査対象畜負担割合 (%)	年内異動状況	
						年 (西暦)	月					自動車重量税 (円)	自賠責保険 (円)		異動コード	売却金額 (円) (廃棄(無償譲渡を含む。)した場合は、「0(ゼロ)」)
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																

種類コード		型式コード	
1	貨物自動車	(1 貨物自動車)	(2 その他の自動車)
2	その他の自動車	1 軽自動車	1 軽自動車
		2 普通自動車(ダンプ式)	2 普通自動車
		3 普通自動車(ダンプ式以外)	3 自動二輪・三輪

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
- ・バッテリー・補充液
- ・洗車代、リサイクル料金 など

自動車保険料には、任意保険(対人・対物除く車両分のみ。)の掛金を記入してください。

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【10】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

調査対象畜の飼育に使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
なお、1年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、12ページに記入してください。

【調査対象負担割合について】

- ・ 該当農業機械を調査対象畜のみに使用している場合は「100」としてください。
- ・ 調査対象畜以外に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に負担割合を記入してください。

調査対象負担割合 = $\frac{\text{調査対象畜の使用日数}}{\text{経営全体の使用日数}} \times 100$

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

番号	名 称 等	種類コード	型式コード	新古区分 新品 中古	耐用年数（年）	取得年月		取 得 価 額 （円） 〔 購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。 〕	農 業 経 営 基 盤 強 化 準 備 金 （円） 〔 農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。 〕	修 繕 費 （円） 〔 当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。 〕	保 険 料 （円） 〔 当年の当該農業機械の保険料を記入してください。 〕	軽自動車税 （円） 〔 当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。 〕	当年、車検を受けた車両について記入してください。		調 査 対 象 負 担 割 （％）	異動コード	年 内 異 動 状 況	
						年 （西暦）	月						自動車重量税 （円）	自 賠 責 保 険 （円）			売 却 金 額 （円） 〔 廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」 〕	
1						年 月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十					万 千 百 十	
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード			
5	農用トラクター	50	バキュームカー
8	マニュアルレックレー	52	固液分離機
17	動力噴霧機	53	自動給水機
40	飼料粉碎機	56	その他の農機具等
41	飼料配合機	57	パソコン
48	自動給餌機	58	その他の生産管理機器
49	ローダー		

型式コード	
(56	その他の農機具等)
1	その他・耐用年数3年
2	その他・耐用年数4年
3	その他・耐用年数5年
4	その他・耐用年数6年
5	その他・耐用年数7年
	上記以外の農機具等
6	その他

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・ 農業機械の修繕、整備費用、部品代
- ・ パソコン等の修理費用、部品代 など

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【11】農具の購入費・生産管理関係の費用等

1年間に調査対象畜の飼育のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・該当農具を調査対象畜のみに使用している場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外へ共通して使用している場合には、それぞれへの使用日数の割合等を目安に負担割合を記入してください。

区 分 (名 称 等)	金 額 (円)	調 査 対 象 負 担 割 合 (%)	内 容 例 示
(計)			
農 具 ・ 農 業 被 服 等 の 購 入 費			【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、スコップ類、ホース、じょうろ、草かき、飼料桶等の購入費
			【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費
生 産 管 理 関 係 の 費 用			【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用機、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費
			【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費
			【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

【12】作業別労働時間

1 調査対象畜の生産に関する定型作業

農業従事者ごとに、上段に1日当たりの平均作業時間を記入し、下段に1年間の従事日数を記入してください。

氏 名	性別	年齢	家族・雇用	飼料の調理・給与・給水	敷料搬入・きゅう肥搬出	その他の飼育作業
	男/女		家族/雇用	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日
	男/女		家族/雇用	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日
	男/女		家族/雇用	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日
	男/女		家族/雇用	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日
	男/女		家族/雇用	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日
	男/女		家族/雇用	時間 分 日	時間 分 日	時間 分 日

注：雇用者の年齢は記入不要です。

2 調査対象畜の生産に関する1以外の作業

「作業名」欄の（ ）に具体的な作業名を記入した上で、農業従事者ごとに年間の作業時間を記入してください。
ここには、集会出席・技術習得・簿記記帳等の生産管理の時間、自給飼料の生産のための作業時間を記入してください。

氏 名	性別	年齢	家族・雇用	作業名 ()	作業名 ()	作業名 ()	作業名 ()	作業名 ()
	男/女		家族/雇用	時間	時間	時間	時間	時間
	男/女		家族/雇用					
	男/女		家族/雇用					
	男/女		家族/雇用					
	男/女		家族/雇用					
	男/女		家族/雇用					

注：雇用者の年齢は記入不要です。

「その他の飼育作業」とは、調査対象畜に関する以下の作業をいいます。
・種付け、分べん関係作業
・手入・運動・放牧作業
・きゅう肥の処理（切り返し、加工）作業
・衛生管理（殺虫剤の散布等）

3 支払賃金

雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を男女別に記入してください。

区分	金 額（円）	調査対象畜 負担割合
男	万 千 百 十 円	%
女		

・「支払賃金」に調査対象畜の飼養のための支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外の雇用者への支払い分を含めて記入する場合には、それぞれの労働時間の割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

【13】地代（所有地及び借入地）

1年間に調査対象畜の飼育のために使用した土地（所有地、借入地）について記入してください。
なお、所有地については「実面積」を、借入地については「実面積」及び「支払地代」を記入してください。

1 所有地

ほ 場 名	ほ場の例示	実面積	調査対象畜 負担割合
建 物 敷 地	畜舎、納屋及び飼料倉庫などの建物及び構築物の敷地	ha a	%
運 動 場	豚の運動や放牧に利用した土地		
牧 草 栽 培	牧草地及び飼料作物を栽培した耕地		
採 草 地	耕地以外で過去1年間に調査対象畜用の野草を採草した土地		

・該当土地を調査対象畜のみに使用している場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外へ共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

2 借入地

ほ 場 名	実面積	支払地代（円）	調査対象畜 負担割合
建 物 敷 地	ha a	万 千 百 十 円	%
運 動 場			
牧 草 栽 培			
採 草 地			